



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：片野之万 副会長：清水 裕 幹事：三荒弘道 会報委員長：馬上 晋

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 ブランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2018年 2月22日 第 3142 回 週報第 3142 号

本日 2月22日	会員数 60名	対象者 58名	出席者 36(36)名	出席率 62.07%			
前々回 2月 8日	会員数 60名	対象者 58名	出席者 41(39)名	出席率 68.33%	MUP 4名	計 45名	修正率 75.00%

卓話

富士道第十二世 神道扶桑教 管長 穴野 史生様



卓話

「富士山信仰について」

富士道第十二世 神道扶桑教 管長 穴野史生

日本一の山と称される富士山に対する畏敬の念と崇拜の念は誠に古くからありました。神々しいまでの秀麗な姿は神霊の宿る霊峰であり、一方幾度かの噴火を繰り返した荒々しい姿から、火の神の猛威が与える畏怖の山でありました。そして、人々の恐れ気持ちは、やがて山に祈ることで平安を招き、人間の力では到底抗しきれない大自然の驚異を神として祀る信仰が生まれました。

このような富士山の歴史は、日本武尊が東征の折に現在の北口を開かれたとされる日本書紀、古事記の時代から、聖徳太子、役行者による登山・開山などの神話伝承が伝えられておりますが、現在に富士信仰の伝統を存続させているのは、藤原(長谷川)角行(1541～1646)が永禄元年(1558)より不撓不屈の修行のもとに北口登山道を開かれ、元亀3年(1572)6月3日、霊峰頂上立って興された富士道であります。

やがて、藤原角行を開祖に、富士山そのものを霊場とする富士道は確立され、富士山の厳しい自然の中を登山修行し、天地平安・万人安福を祈る富士講が組織されました。

富士講は、江戸時代中期に「江戸八百八町に、八百八講あり、講中八万人」といわれるほど隆盛し、伊勢詣り、金毘羅詣りとともに、「三大詣り」として江戸の町民に深く根付きました。また、富士山に登ることができない女性やお年寄りのために、江戸の諸所に富士山をかたどった「富士塚」が作られるなど、当時の富士講の習俗は江戸町民の生活風俗に大きな影響をもたらしました。

このことは、羽黒山や大峰山などの各地の山岳信仰が修験者による修行の場であったのに比べ、富士講は一般民衆が伝統的信仰形態を取りながら山頂を目指したという特異な現象であります。

民衆の登拝を支えたものは、厚い信仰心と豊富な経験に裏付けられた富士講先達(せんだつ)の存在であり、又ふもとは御神前で大神楽を奏すなど信仰の指導者であり、宿泊所の運営や強力(ごうりき・荷物の運搬)の手配など、いわばベースキャンプとして山を目指す講の人々をサポートした御師(おし)の存在でありました。

また、先達が伝えた「山で一番怖いのは雷」「弁当忘れても雨具は忘れるな」「息は吸うよりまず吐き出せ」などの言葉は、知識としてではなく、経験に裏付けられた知恵として、十分現在に通じるものであります。

現在も登山者の多くは金剛杖を頼りに、苦しい登山の中で、心から自然に湧き出る言葉として「六根清浄」の掛け声とともに一歩ずつ山頂を目指しております。このような姿は諸外国にも例がありません。

文化庁や自治体においても、富士道・富士講の古文書などの記録や、祭具・建築物等を歴史的遺産として長く後世に伝えるべく、文化財の指定など必要な措置を講じております。

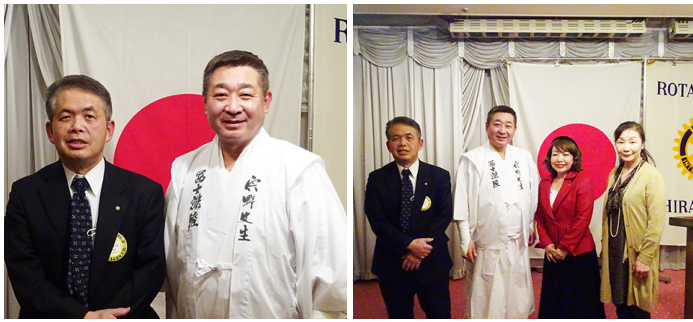
中でも、富士講の歴史ととりわけ意味ある史跡として、八合目烏帽子岩富士山小頂上天拝宮(元祖室)は存在します。日本武尊が登拝の折に烏帽子を置き休息したと伝えられる聖跡であり、富士道(明治15年、勅裁の神道教派として特立し、神道扶桑教に改称)の中興元祖伊藤食行身祿(ジキギョウミロク・1671=寛文11～享保18=1733)が、享保18年6月13日～7月13日の31日間を、一日一椀の水だけの断食修行により六十三歳で即身入定された霊跡で、その御遺体の石棺の上に小祠を建て、身祿堂・元祖室と称されてきました。そこに、富士山頂上金明水脇にあった富士山天拝所をここに移し合せ、富士山天拝宮とし、元祖食行身祿師入定より二百八十余年の今日まで、富士信仰に欠くことのできない重要な霊地として、守り伝えられています。富士山五合目以上に存在する社殿は、頂上久須志神社、浅間大社奥宮と、富士山天拝宮の三ヶ所のみであります。

しかし、先に申し上げましたように、富士道・富士講の本来の姿は、歴史的な資料としてのみではなく、民衆の中に生きる姿であります。

西欧の登山は、いわばスポーツとしての自然の克服であり、頂上に立つことが目的であります。富士講の精神は、厳しい富士の自然と一体化し、あるがままの環境を受け入れて「生かされている自己を再確認する」ことが目的であります。このことは、最近提唱されている「自然との共生」という理念に近いものであると認識しております。

私たちは、富士信仰として培われた長い歴史と、山全体を霊場として一木一草を大切に守り、山の厳しい自然を畏敬の念を持って祈った先人の思いを後世に伝え、四百六十年以上脈々と引き継がれてきた先人・先達の想いを今一度思い起こし、尚一層の精進努力を重ねて参る所存でございます。

(「富士山」・「富士講」などの表記は本来「富」の使用が伝統ですが、本文にては「富」で表記しました。)



穴野史生様と片野会長

穴野様を囲んで片野会長、西村会員とご友人の加藤様

卓話者ご紹介

穴野 史生 (ししの ふみお) 様

昭和 37 年生まれ 拓殖大学 政経学部卒業

昭和 62 年 衆議院 公設秘書
 平成 2 年 株式会社 カトキチ 営業企画部
 平成 16 年 環境大臣および
 ~ 18 年度 国務大臣内閣府特命担当秘書官 (沖縄及び北方対策) を兼務。
 平成 25 年 神道扶桑教 管長 襲任

現在、
 (公財) 日本宗教連盟事務局長
 教派神道連合会理事
 世界連邦文化教育推進協議会 理事長
 富士道第十二世 神道扶桑教第六世管長
 富士山大賞・富士山自然文化情報センター理事長

幹事報告

◎ プログラム日程表で会員健康診断は3月1日(木)となっておりますが、今年度は4月5日(木)に変更となりました。後日お知らせを皆様に配布いたします。

◎ 2018-19年度版「ロータリー手帳」の予約申し込み締切が本日までです。一冊 600 円 + 消費税です。お申し込みの方は例会終了後に受付へお申し出ください。

◎ 次・クラブ指導者に向けた「公共イメージ&社会・国際奉仕セミナー」が3月7日(水)に開催されます。杉山昌行会長エレクト、柳川正人会員、高橋賢二会員が出席されます。

◎ 会長エレクト研修セミナー (PETS) が3月13日(火)開催されます。杉山エレクトが出席されます。

◎ インターアクト一泊研修会が開催されます。
 期日: 3月24日(土) ~ 25日(日)
 場所: 小田原スポーツ会館
 平塚学園より7名の生徒と2名の先生が参加され、森インターアクト委員長が2日間出席いたします。

◎ 次年度のための地区研修・協議会開催のお知らせ
 日時: 2018 年 4 月 8 日 (日)
 登録: 11:30 ~ 12:30
 研修・協議会: 12:30 点鐘
 場所: 神奈川県立保健福祉大学
 次年度の各部門委員長、担当者の方、また今年度の新会員の方にはご案内をお送り致しますので、ご出席をお願い致します。

◎ 17-18年度の企業訪問についてお知らせ致します。
 日時: 4月12日(木) 通常例会後にバスにてグランドホテル神奈中より出発致します。
 詳しい内容は後日ご連絡致します。

委員会報告

・青少年委員会 委員長 瀬尾光俊
 第 48 回平塚市少年少女マラソン大会が 3 月 3 日 (土) に開催されます。参加人数が少し不足気味です、会員の皆様におきましては、是非、ご出席お願いいたします。

・会員研修委員会 関口委員長
 2月8日(木)、第2回新会員研修セミナーを開催致しました。昼の例会に続き夜間の開催にもかかわらず、講演 41 名(新会員 18/26 名・西 R C より 1 名)のご参加、懇親会へも 3 5 名という大変多くの会員の皆様にご参加頂き誠に有難うございました。
 大谷ガバナーをお迎えして、『ロータリアンとは?ロータリアンを感じ・考える』をテーマにロータリーの歴史と共に特別講演をして頂きましたが、大変聴き易く楽しい講演で、質疑にも丁寧にご対応頂き、更に大谷ガバナーのお人柄もあり、懇親会でもガバナーご自身が各テーブルを廻って会員の皆さんの話に耳を傾けて下さり、笑い声が絶えないとても賑やかな会となりました。今回の講演、懇親会を通して、皆様がそれぞれに『ロータリアンとは?』を感じ、考えるきっかけにして頂ければ委員会としても嬉しい限りです。
 西 R C から御参加頂いた佐々木会員からもこのような研修は他クラブでは無いようで、是非又参加させて欲しいと後日お礼のお便りを頂いております。
 今回の企画に御尽力頂きました常盤 A G に心より感謝申し上げます。
 次回新会員研修セミナーは 5 月 2 4 日 (木) 18 : 30 ~ となります。最終回となりますので新会員の皆様はスケジュール調整をお願い致します。

・スマイルボックス委員会 葛西委員長
 1月のスマイル大賞の発表
 玉井常裕会員 1月11日のスマイル・・・
 明けましておめでとうございます。年末ジャンボ宝くじ下3桁 527 番 1万円当たりました!!スマイルします。
 小飯塚立雄会員 1月25日のスマイル・・・
 結婚記念日祝いありがとうございます。
 「夫婦舟」が持ち歌となる 50 年、糟糠の妻、悔いることなし。

メークアップ (MUP) 4名
 清水 裕、杉山昌行、常盤卓嗣、柳川正人会員

本日のスマイル 14名

ゲスト 2名

神道扶桑教 管長 穴野史生様、加藤公子様 (西村会員ご友人)

ビジター 4名

秦野 R C より 井上善博様、山口太郎様、田中宏顕様、田口幸代様

卓話・行事予定

3月1日(木) 入会記念卓話 上野雅俊会員
 3月8日(木) NPO JIA事務局長 原田燎太郎様、菅野真子様
 3月15日(木) 湘南地域県政総合センター 所長 太田良勝様

市内例会変更 現在ございません。

